

2013年11月5日
株式会社東急リゾートサービス
取締役社長 橋詰 雅彦

当社運営施設レストランにおけるメニュー表示に関するお知らせ

当社では、今般生じている一連のホテル・レストラン等のメニュー誤表示、偽装表示問題に関する報道を受け、運営施設のレストラン全店舗におきましてメニュー表示の問題がないか、緊急的な自主調査を実施いたしました。その結果、東急ハーヴェストクラブのレストランと関西カントリークラブのレストランにおいて、以下の事例があることが確認されました。

朝食膳の「卵料理(御殿場産卵使用)」について近隣の愛甲郡産の卵を使用していた事例(1事例)
「群馬舞茸朴葉焼き」について群馬県産の舞茸が入手困難な時期に新潟県産の舞茸を使用する等、食材入手の困難や安定供給が得られなかった際に代替品が提供されていた事例(8事例)
「鮮魚」と表示していたメニューについて鮮魚を仕入れた後に冷凍で保存していた事例や冷凍の魚を使用していた事例(8事例)

日頃よりお客様との信頼関係を築き、常にお客様の信用を重んじて行動することを一番に心がけてまいりましたが、上記のような表記の問題があったことを大変申し訳なく、心よりお詫び申し上げます。

既にこのような表記はすべて改め、同時に当社運営のレストランに共通のメニュー表記に関するガイドラインを定めました。今後は、同様の事態の発生を防ぐとともに、当社の社会的責任を遵守するためにも、原因に関する調査を含めた深度ある調査を更に徹底して行った上、社内におけるチェック体制の確立を図ってまいります所存でございます。

メニューの表記はもとより食材の選定、食品の衛生管理をより徹底し、お客様の楽しいお食事時間の提供を心がけてまいりますので、今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

以上